

我が村の



南大東村立ふるさと文化センター

南大東の開拓の歴史を学ぶ資料館で、館内には当時の農機具や生活雑器、自然標本、写真などが展示されています。建物横には製糖産業の初期を思わせる圧搾機や実物のシュガートレインの展示もあります。

文化財



西方化粧回し

豊年祭奉納相撲土俵入りで幕内力士だけが着けられる化粧回しです。黒地に金で単配が刺繍され、華やかな仕上がりになっています。



ふるさと文化センター内機関車

さとうきびの運搬に島内を走ったシュガートレインです。平成 19 年度に近代化産業遺産として経済産業省から認定を受けました。



島の物語。

八丈文化と沖縄文化が融合して
南大東村独自の文化として誕生しました。

和太鼓

八丈太鼓に用いられる和太鼓です。八丈太鼓は八丈島から伝わる伝統芸能で、神社祭、盆、お祝いごと、客人のもてなしなどに欠かせません。八丈太鼓は上拍子、下拍子と左右違うリズムで両面から豪快に叩き合うのが特徴です。時代の流れと共に沖縄太鼓の打法も加わって島独特の打法に変化し、現在では大東太鼓と呼ばれています。



臼

炊事用のピロウ製小型臼



お神輿

豊年祭宵祭りを練り歩く際に用いられる神輿です。各6字と製糖工場と在所区子供神輿の8つの神輿があります。当時はケンカ神輿でぶつけ合うため毎年製作されたので、簡易な作りとなっていました。現在でも、南大東村豊年祭で十数人の成人男性がこれを担ぎ、参道の階段を勢いよく駆け上る姿が見られます。



島内専用物品引換券

開拓支配者であった、玉置商会、東洋製糖株式会社、大日本精糖株式会社が発行した島内専用物品引換券です。玉置商会発行のものは玉置紙幣とも呼ばれ、表のみ印刷されていますが、他2社発行のものは両面に文字が印刷されています。



渡島承認証

開拓支配者であった大日本精糖株式会社が発行した渡島承認証です。現代でいうところのパスポートのようなものにあたり、会社の承認がなければ島を離れることはできませんでした。



上陸記念碑

第1次開拓団で上陸した沖山権蔵によって大東神社に奉納された上陸記念碑のかげら。風化が激しく、現在は再建されたものが大東神社に安置されています。